

親 師 会 報

第 140 号

発 行

新潟県立新津高等学校
親 師 会

☎0250(22)1920

会 長 挨 拶

親師会長 川 上 洋



本年度、親師会会長を務めさせていただきます、川上洋です。今年度で会長になり5年目となり、自分自身が新津高校に通っていたよりも、長い期間この職を務めるとは考えも付かなかったのですが、これからも、一つ一つの親師会行事を丁寧に携わっていきたく考えています。

さて今年度の学年別懇談会ですが、開催日程を変更して、多くの保護者の皆様に参加していただいた昨年の懇談会と同じスケジュールで行います。今まで、夏休み前の土曜日午前中の一斉開催を改めて、1、2年生を11月開催で行ったところ、どの学年も前回より2割以上多く参加していただくことができました。ただ、懇談会会場周辺の駐車スペースは充分なのですが、入り口前に限って駐車数が多くないので、開始直前は駐車場所を探して、多少バタバタしたようでしたが、今年度は車の置く場所を注意していただければと思います。

研修旅行の大学見学も10月上旬を予定しています。例年同様に貸し切りバスに乗って保護者と先生で訪問大学に向かう車中に、進路指導の先生より普段の進路説明会より、コアなお話を聞きながら目的地に向かいます。走行中のバスは狭い空間ですので、質問も気兼ねなく出来る雰囲気なので、是非体験してみてください。

大学到着後は通常は授業の様子を廊下から教室を拝見することが多いのですが、昨年訪れた東北大学では、短時間ですが学生と一緒に教室で授業を受けることが出来ました。ひとつのクラスでは学生と話し合いながら教授からの課題の答えを見つける授業内容でしたので、期せずして、ディスカッションしながら、各参加者が、生の学生の様子まで聞くことが出来ました。昼食も普段学生が利用している食堂でとりましたので、学生の日常を見学できました。

その他の行事も確定次第連絡しますので、是非ご協力をお願いします。

校 長 挨 拶

学校長 渡 辺 剛



この四月より新津高等学校長を拝命いたしました渡辺剛です。保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和元年をむかえる記念すべきこの年に、ご縁があって新津高校に赴任いたしましたことを大変光栄に思っています。

また、本校は令和三年度に百周年を迎える伝統校です。現在、同窓会の皆様そして親師会役員の皆様と連携して、百周年記念行事の準備を進めているところです。今後は保護者の皆様にご協力をお願いすることも多々あるかと思いますが何卒よろしく願いいたします。

当校の校訓は、皆様もご存知の通り「學ぶは高き人の道」であります。

この意味を私は、人は学ぶことによって、徳性の高い人間となり、相手の立場に立って物事を考え、思いやりや正義の心といった「あたたかさ」を身につけ、また、「自分の能力は、努力によって伸ばすことができる」と信じて、一生懸命努力する人間になるという意味だと考えています。

新津高校の生徒が、学校の授業に集中し、しっかりと学び、そして学校行事や部活動に精一杯取り組み、友達と積極的に関わって、人間性を高めて、校訓の「學ぶは高き人の道」の精神を体現してほしいと思っています。

保護者の皆様、新津高校は、勉強も部活も頑張りたい生徒を応援し、「しなやかな心」と「あたたかい心」を合わせ持つ生徒を育てる、「しなやかで、あたたかい進学校」を目指しております。

結びになりますが、生徒たちのよりよい成長のためには、家庭、学校、地域の密接な連携が重要です。保護者の皆様と協力しながら生徒一人一人の進路実現のために、職員一同、取り組んでいきますのでよろしくお願い申し上げます。

各種大会成績

【卓球部】

地区大会
 ・男子学校対抗 ベスト8
 ・女子学校対抗 5位
 ・男子シングルス ベスト16 高野 陸 (3-1)
 ・女子シングルス ベスト12 石山 莉穂 (3-5)
 ベスト20 永井 来未 (3-4)

【女子バレーボール部】

地区大会
 一回戦 新津 0-2 新発田中央
 県総体
 一回戦 新津 2-1 日本文理
 二回戦 新津 0-2 中越

【野球部】

第140回北信越地区高等学校野球大会新潟大会
 二回戦 新津 5-3 新発田農業
 三回戦 新津 2-12 日本文理

【陸上競技部】

地区大会
 ・男子100m 2位 渡邊 賢 (2-2)
 ・男子200m 6位 渡邊 賢 (2-2)
 ・男子1500m 6位 小柳 洸平 (3-5)
 ・男子5000m 3位 渡邊 圭 (3-5)
 ・男子400mH 6位 佐藤 広実 (2-1)
 ・男子3000m障害 2位 渡邊 圭 (3-5)
 ・男子走高跳 8位 目黒 心生 (2-6)
 ・男子やり投げ 4位 細貝 華楓 (3-4)
 8位 植村 勇暉 (3-1)
 ・女子やり投げ 2位 金子 亜美 (2-7)
 県総体
 ・女子やり投げ 7位 金子 亜美 (2-7)

【男子バスケットボール部】

地区大会
 一回戦 新津 113-33 村松
 二回戦 新津 43-76 開志国際
 県総体
 二回戦 新津 97-26 吉田
 三回戦 新津 61-70 新潟

【女子バスケットボール部】

地区大会
 一回戦 新津 80-25 新発田農業
 二回戦 新津 48-72 五泉
 県総体
 一回戦 新津 63-65 三条商業

【剣道部】

地区大会
 ・男子団体戦 2位
 ・女子団体戦 3位
 ・男子個人戦 ベスト8 高田石敦基 (3-7)
 第9位 吉井 佑輔 (3-1)
 黒谷 友宥 (3-4)
 県総体
 ・男子団体戦 ベスト16

【男子バドミントン部】

地区大会
 ・ダブルス
 ベスト16 稲田 貫汰 (3-7)・星野 愛斗 (3-1)
 ・シングルス
 ベスト16 稲田 貫汰 (3-7)
 県総体
 ・学校対抗
 一回戦 新津 1-3 長岡大手

【女子バドミントン部】

地区大会
 ・ダブルス
 ベスト8 関川あかり (2-6)・今井 理絵 (2-1)
 ・シングルス
 ベスト8 今井 理絵 (2-1)
 関川あかり (2-6)

県総体

・学校対抗戦
 一回戦 新津 3-2 三条東
 二回戦 新津 0-3 日本文理

【サッカー部】

地区大会
 二回戦 新津 3-0 加茂農林
 準決勝 新津 1-3 三条
 3位決定戦 新津 0-0 巻
 (PK戦 2-4)

県総体

一回戦 新津 8-0 高志中等
 二回戦 新津 0-10 北越

【ダンス部】

県総体
 ・創作コンクール部門
 「私は私で」-川名紀美「アルピノを生きる」よりー
 ・参加発表部門
 [A]ddiction (アディクション)

【弓道部】

地区大会
 団体男子 4位
 団体女子 4位
 個人男子 5位 羽角 健太 (2-2)
 個人女子 6位 阿部陽奈子 (2-2)

県総体

団体男子 ベスト8

【男子テニス部】

県総体
 ・団体
 二回戦 新津 2-1 小千谷
 三回戦 新津 2-1 五泉
 準々決勝 新津 0-3 開志国際 (ベスト8)

【女子テニス部】

県総体
 ・団体
 二回戦 新津 3-0 高志中等
 三回戦 新津 2-1 高田
 準々決勝 新津 0-2 長岡 (ベスト8)
 ・ダブルス
 ベスト16 吉岡 明音 (3-4)・関川 望和 (3-4)

【少林寺拳法部】

県総体
 ・男子組演武
 5位 渡邊 人太 (2-2)・滝沢 翔 (2-6)
 ・男子単独演武
 8位 小野塚 曜 (1-7) (北信越大会出場)

【水泳同好会】

地区大会
 ・男子平泳ぎ200m 5位 成海 李紀 (1-4)
 ・女子平泳ぎ100m 5位 田夢 遥 (1-4)
 6位 渡邊 真白 (3-6)
 ・女子平泳ぎ200m 4位 田夢 遥 (1-4)
 6位 渡邊 真白 (3-6)

【書道部】

新潟県高等学校総合文化祭書道部門
 ・推薦 薄葉 美月 (3-4)
 (第43回全国高等学校総合文化祭出場)

【囲碁将棋部】

新潟県高文連将棋大会
 ・女子個人戦 優勝 堀内 優希 (1-2)
 (第43回全国高等学校総合文化祭出場)

おめでとう！！ 【全国大会出場】

書道部
 囲碁将棋部

【北信越大会出場】

少林寺拳法部

親 師 会 総 会 ・ 学 年 別 講 演 会

親師会総会・学年別講演会に参加して

1学年保護者 布川 裕美

令和元年5月11日(土)に授業参観、親師会総会、秋陵会総会及び学年別講演会に参加致しました。

総会前の授業参観では多くの保護者の方が来られており、中学生の時とはまた違う成長した子供たちの姿が見受けられました。

授業参観後の総会でも251名と多くの参加があり、報告及び予算等の議決が行われました。

また、その後学年別の講演会があり、1学年の講演会では、進路についての3年間の流れ、大学入試共通テストの変更点、新津高校としての方針を分かりやすく講演して頂き、次に文理選択の説明や修学旅行等についてのお話がありました。

1年生の保護者の方は新たな高校生活で何かと不安を感じることもあると思いますが、講演会での先生方の力強いお話で安心できたのではないのでしょうか。

今後とも先生方の温かいご指導を賜りますようお願い申し上げます。

☆ 1 学年 ☆

講師：西條和久(本校1学年主任 進路指導部)

1学年は最初に、学年主任の西條から、「3年間の進路の流れ及び大学入試共通テストについて」と題して講演をしました。センター試験から大学入試共通テストへと入試制度が変わりますが、そのことを高大接続改革の流れと関連づけて説明しました。次に教務部の小林から、来年度の文理選択(科目選択)についての説明をしました。さらに修学旅行担当の南雲から、2年次の修学旅行について説明しました。なお、この学年の修学旅行は「北海道」、「山陽・近畿」、「九州」の希望別3コースとなります。最後に、生徒指導部の重野から、衣替えや自家用車による送迎の注意点について連絡しました。



☆ 2 学年 ☆

講師：小松 彰(本校2学年 進路指導部)

卒業生の進路先、2学年の生徒の学力および進路希望の状況の紹介、私たちの学年から始まる新入試についての説明がありました。志望校との差は大きいものの、入学時に比べると、学年全体の成績は少し向上したそうです。保護者をお願いしたいこととして、次の二点を挙げました。

「一つは子供の成績を把握する、もう一つは受験費用を準備するです。諦めてくださいということではなく、志望校との距離や差を直視して、合理的な努力を継続してほしいという意味です。また受験から入学式を迎えるまでに、自宅外通学の場合、国公立大学であっても最低200万円は必要とされるため、資金の計画や準備を今からお願いします。」

講演の後、係の教員により、「修学旅行」と「3年次科目選択」についての説明をさせていただきました。



☆ 3 学年 ☆

講師：齊藤恭広(本校進路指導主事)

講演では「第一志望合格に向けて」と題して、①新津高校の受験の原則、②今春の入試結果を踏まえた3学年の志願状況と実績、③家庭での話し合いの重要性、④進学に関わる費用などをお話しさせていただきました。最終学年となった3年生には、しっかりと学習に時間をかけてほしいところです。保護者の皆様は、この1年間を見通した多岐にわたる内容に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。当日ご出席できなかった皆様にも生徒を通じて資料を配付させていただきましたので、ご活用いただければ幸いです。



進路指導室より

進路指導主事

齊藤 恭広

夏休みが始まります。部活動の県総体や体育祭と大きな行事も一段落し、生徒は、期末考査・全国模擬試験と、落ち着いて学習に取り組んでいます。1年生は初めての試験でしたが、模擬試験は大学進学を考えている生徒にとって、現在の自分の学力・学習状況を確認する大切なものとなっています。今の自分を知ることによって今後の学習の量や質の改善をしていくことが模擬試験を受験する最も重要な要素です。事前指導・自己採点・事後指導など学校でも十分に指導はしていますが、ご家庭でも親子一緒に今の学校生活を振り返り、家庭内での生活改善に役立てて欲しいと思います。なお、国公立大学合格者の、高校時代の平日自宅学習時間の平均は約3時間とされています。夏休み中にきちんと自宅で3時間以上の学習ができる環境を作りましょう。

3年生はいよいよ受験の天王山といわれる夏休みに入ります。4月に「夏までに、授業第一で基礎学力を身につける」と指導してきましたが、お子さんは自宅でしっかりと学習に取り組んでいますでしょうか。夏休み中の学習によって進学校が決まると言っても過言ではありません。三者面談(7月26日～)で担任としっかりと面談を行い、進路希望実現に向けた1日10時間以上の学習計画をしっかりと立て、実行して下さい。なお、夏休み中に【必ず】やっておくべき事は、以下の3つです。

- 1 センター試験に向けた5教科の基礎力の完成(本校では進路に関わらず原則全員がセンター試験を受験することとしています。)
- 2 国公立大2次試験、私立大一般入試に向けた受験教科の記述力の強化(赤本などの活用)
- 3 志望校の設定
国公立大学は難易差をつけて前期・後期(中期)を各3校設定
私立大学は安全校・実力相応校・チャレンジ校をそれぞれ2校ずつ設定

さて、高大接続改革が進む中、大学入試も現2年生から大きく変わります。その大きなポイントは、

- ① 大学入試共通テスト(今のセンター試験にあたるもの)で国語と数学に記述問題が入る。
- ② 英語の外部検定を大学入試に活用する。
- ③ 高校時代の活動を蓄積して、その内容を入試の合否に活用する。

の3点です。

①は、今までマークシートで行っていた試験に加えて、国語と数学に記述問題を導入するものです。今までの選択肢から答えを選ぶだけでなく、問題をよく読み、設問の意図を認識して論理的に記述する力が要求されることになります。授業で受動的に板書を写す・与えられた問題を解くだけでは対応できないので、普段の授業から物事を主体的に考え、能動的に学習する姿勢を作る必要があります。

②は、今まで入試になかった「話す力」を加えた4技能(読む・書く・聴く・話す)を入試に取り入れるものです。これが点数化されたり、大学に出願するための要件になったりします。これは、既に多くの大学で導入されており、例えば東京海洋大学では英検2級の力を出願要件としてこのレベルを持っていない人は出願できないこととなります。新潟県内の国公立大学もこれから外部検定を取り入れる予定で、特に英語の力は学部を問わず必ず受験で要求されるものとなります。「英語が苦手」ではすまないで、普段から英語の授業で「予習⇒授業⇒復習」のサイクルをしっかりと作り、確固たる英語の力をつけましょう。

③は、課外活動や生徒会活動に加えて、学校の学習活動をもとに、高校生活の中で自分が設定した課題に対して「どのように取り組み」「どのような成果があり」「どのように将来に繋げるか」という探究活動を行い、3年間の活動の記録を大学入試に取り入れるものです。本校では、昨年度から総合学習時間を活用して、1年生は課題解決学習を、2年生は課題研究を、1年を通して探究活動を行っています。この活動を通して、教科・科目を超えた課題に対して主体的に物事に取り組む能動的な姿勢を育成しています。ただ探究活動を行うには、学校の授業で学んだ事柄を活用するので、今以上に能動的な授業への取り組みが必要となります。

いま、大学だけでなくどこに進学や就職をするにしても、学んだことを身につけるだけでは合格を勝ち取ることはできません。身につけたことをいかに活用できるか、学んだことをどれだけ活かせるかが問われているのです。高校生は勉強することが仕事です。前向きに、何でも吸収しようとする姿勢を持つとともに、明確な将来の目標を持って高校生活を充実させて欲しいと思います。

編集
後記

原稿をお寄せ頂いた方々、撮影に協力して頂いた方々、誠にありがとうございました。この会報がお手元に届くことで、ご家庭での話題や会員相互の交流が深まるきっかけになりましたら幸いです。

今年度転勤して参りました私はこの学校の卒業生です。OBとして在校生のために精一杯努力致しますので、どうぞ宜しくお願いいたします。